



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	久多里, 文也; 上家, 和子; 辻, 隆司 他
Citation	makoto. 2015, 169, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85666
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

❀ 新年のごあいさつ ❀



一般財団法人 大阪防疫協会

理事長 久多里 文 也

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとお力添えを頂き有難うございました。

本年も変わらずご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、西アフリカ諸国でエボラ出血熱の感染が過去最大の流行となり感染阻止の戦いが今も続いています。ワクチンや血清、治療薬等で速やかに終息する事を祈っております。

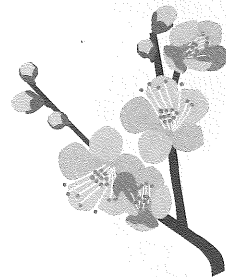
また、国内でも8月に約70年ぶりにデング熱の国内感染例が報告されました。東京都内を中心に多数の海外渡航歴のないデング熱症例が報告され代々木公園は一時立ち入りを制限されました。そのような喧噪の中でデング熱が毎年のように流行するブラジルで数多くの昆虫類に感染している共生細菌で宿主に対して様々な現象を引き起こすボルバキアに感染させた蚊を自然界に放出することで、蚊に

よるデング熱感染を防ぐことが出来るという画期的な方法による実験が開始されたとの報道がなされました。その実験結果が気になるところでございます。

厚生労働省は、デング熱やウエストナイル熱、チクングニヤ熱、マラリアなどの蚊媒介性感染症の総合的な予防対策を推進するための予防指針を策定し、小委員会を設置し指針案を取りまとめ今年3月をめどに告示・適用を予定されています。

弊会では、公益事業といたしまして、防疫に関する相談、防疫用国有ワクチンの備蓄、防疫思想及び防疫知識の普及啓発、防疫に関する調査並びに研究、を通じまして安全・安心・健康な街づくりに向け、より一層努力をしまいる所存でございますので、今年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますことをお祈りいたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

上 家 和 子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本府の健康医療行政に格別のご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

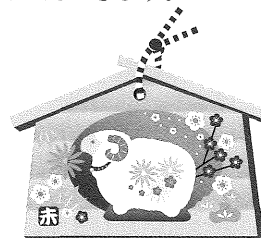
さて、昨年8月、渡航歴のない方のデング熱感染例が70年ぶりに確認されました。その後、全国各地で同様の国内感染例の報告が続き、全国で150名を超える症例が確認されました。感染したと考えられる場所の一部では蚊の調査・駆除のみならず、立ち入り制限等も行われ、連日の報道によって、蚊が媒介する感染症とその対策について広く知られることとなりました。海外では、昨年3月以降、エボラ出血熱が西アフリカ諸国で集団発生し、いまだ、制御に至っていません。今回の西アフリカの集団発生はこれまでで最大規模となっており、アメリカやスペインでは流行地域から帰国したエボラ出血熱患者からの2次感染例も報告され、世界的に大きな問題となっています。日本でも、水際対策の強化とともに、各自治体での訓練の実施など、対策を一層強化しています。

一方、侵入を阻止できなかったセアカゴケグモはすでに国内に定着し、昨年も、咬傷被害が相次ぎました。また、一昨年に続き、昨年も大阪府内でも残念ながら先天性風疹症候群例が報告されました。

あらためて、府民への感染症に関する情報の提供の重要性を痛感しております。こういったなか、本府では、昨年、感染症に関するわかりやすい情報提供をめざして、ホームページの見直しをいたしました。また、輸入感染症に備えた対応としては、関係機関との合同搬送訓練を実施し、厚生労働省や国立感染症研究所とも意見交換を進め、あらためて対策の点検を行っているところです。

貴協会におかれては、引き続き、これまで培ってこられた防疫に関する豊富な経験と技術をいかに発揮され、感染症の発生、まん延の防止にご尽力くださいますよう、ご期待申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展とみなさま方のご健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ



大阪市健康局
健康推進部
生活衛生担当部長

辻 隆 司

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

貴協会の皆様方におかれましては、市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、防疫に関する相談事業など、日頃より社会貢献に取り組まれ、御努力されていることに深く敬意を表す次第であります。

昨年は、関東地方を中心とした記録的な大雪や大型台風の来襲による土砂災害の発生、御嶽山の噴火など自然災害に見舞われました。一方、世界的なエボラ出血熱の蔓延や代々木公園において国内で初めてヒトスジシマカ媒介のデング熱患者が確認され、公園封鎖により緊急の蚊駆除対策を行う等、防疫対策の重要性を再認識する一年となりました。

これら災害や感染症に対して、貴協会の永年にわたり培ってこられた防疫対策・衛生害虫獣の防除に関する豊富な知識と経験は心強いものであり、今後ますます重要となる危機管理の分野において、専門的な見地から地域を支え、緊急時における住民の安全・安心の確保に御尽力頂くとともに、公衆衛生の向上に寄与頂きますよう期待申し上げます。

さて、大阪市では、本年2015年を大阪文化観光創造のシンボルイヤーとし、民間を中心として、水都大阪2015、大阪城まちづくり400年、道頓堀川開削400周年、天王寺動物園100周年など様々なイベントを通じ、国内外からの観光集客につなげ、年間を通じて大きな賑わいを創出し、人材・資金・情報が集まる魅力あふれる大阪をめざしてまいりますので、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局
健康部長

北 出 法 正

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに平成27年の新春を迎えられ、益々清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年夏には、デング熱の国内感染が発生し、さらには西アフリカでエボラ出血熱の流行が続くなど、新たな感染症の脅威が広がっています。エボラ出血熱については、世界各国が協調した国際的な感染予防、まん延防止対策が課題とされています。我が国においても、国内への侵入をできる限り防止する水際対策の充実が求められるとともに、万一、国内で感染事例が発生した場合の対策にも万全を期して行く必要があります。

このような暗い話題が多い中、スポーツ界ではテニスの錦織圭選手がアジア勢で初めてとなる全米オープン準優勝に輝き、世界ランキング5位と躍進し、国民に大きな感動と希望を与えてくれた1年でした。

本市の地域医療分野では、救急・高度専門・急性期医療の提供を中心とした「(仮称)堺市立総合医療センター」の開院が今年の7月に予定されております。この新病院は、救命救急センターが整備され、本市では初めてとなる高度な救急医療に対応する3次救急医療を提供し、また、災害時医療や感染症医療においても地域の中心的な役割を担うものと考えております。

今後とも、市民の安全・安心を確保し、すべての市民が生涯にわたって安心して暮らせる環境を整えるために、健康・保健・予防施策の充実に取り組んでまいります。貴協会におかれましては、これまで培ってこられた豊富な知識・経験と高度な技術を活用していただき、本市のめざす「健康都市・堺」の実現のために、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市健康部長

河内 俊之

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、国内外で感染症に関する多くの話題が社会的関心を集めました。

8月にはデング熱の国内感染が約70年ぶりに確認され、その後も感染の報告が相次ぎました。ウイルスを媒介するヒトスジシマカの活動期が終わり、ひとまず流行は収束したものの、今後も国内流行が発生する可能性は残されています。昨年の流行を教訓に、平常時からのサーベイランスや発生源対策に加え、発生時における蚊の防除体制の整備・強化を図りながら、蚊媒介性感染症に備えなければなりません。

また、西アフリカ諸国で流行が広がっているエボラ出血熱については、世界的に警戒が強まっており、国内の空港等でも検疫強化が図られているところです。本市でも万一の国内発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、健康危機管理体制の再点検を行うとともに、医療機関をはじめとする関係機関との連携強化を図ってまいりたいと考えています。

グローバル化が進み大量のヒトやモノが国境を越えて移動するようになった現代において、地球規模で急速に広がる新興・再興感染症は人類にとっての脅威であり、感染症対策のより一層の充実強化が求められています。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や公衆衛生に関する豊富な知識と経験、高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



高槻市健康福祉部長

西岡 博史

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、度重なる大型台風や広島での豪雨による土砂災害、御嶽山の噴火等の災害が発生した一年でした。本市では、災害発生に備え、昨年1月に市制施行70周年記念事業として「高槻市全域大防災訓練」を実施しました。大阪府北部を震源とする震度7の直下型地震を想定し、全市民に避難所等への避難を呼び掛けたほか、自衛隊、JR、医療機関と連携して多重衝突事故や列車脱線事故からの救出訓練を実施しました。総勢約2万2千人が参加し、自助・共助意識の向上、公助としての関係機関等の連携を強化することができたと考えています。

一方、感染症に対する市民の不安も高まっています。昨年8月には約70年ぶりとなるデング熱の国内感染が確認され、以後160名程度の国内感染症例が確認されたことが大きな話題となりました。また、西アフリカでエボラ出血熱による多数の死亡例や患者の発生が報告されたことから、本市としましても、市内での患者発生時に備え、国や大阪府との連携のもと、感染拡大防止のための体制整備を図ったところでございます。

これらの感染症対策や災害時における公衆衛生の確保のためには、日常的な防疫活動や衛生管理体制の整備が重要です。貴協会におかれましては、豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、より一層、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



豊中市健康福祉部長

直 川 俊 彦

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、広島市の豪雨による土砂災害や御嶽山の噴火など、甚大な被害をもたらした大規模災害が発生し、一方では、台風の相次ぐ接近や局地的な豪雨の頻発など身近な災害への備えも求められた一年となりました。また、首都圏では、約70年ぶりともいわれるデング熱の国内感染症例が確認され、代々木公園での殺虫剤散布による蚊の駆除の様子などが連日報道されました。さらに、東京都内で初めてセアカゴケグモの生息が確認されたり、マダニが媒介する重傷熱性血小板減少症候群(SFTS)への警戒が促されたりと、衛生害虫等の防除に注目が集まり、その重要性が再認識されました。

市民の安全・安心を確保することは、基礎自治体の最大の責務といっても過言ではなく、本市では、「安全で安心して暮らしができるまち」を基本政策の一つに掲げて、市民の皆様が健康でいきいきと安心した暮らしができるまちをめざして、様々な取り組みを進めております。特に、地域づくり・まちづくりと表裏一体の取り組みとして、小学校区単位や生活圏域単位でのセーフティネットを充実するとともに、医療・介護・生活支援に関するサービスを一体的に提供する、本市としての地域包括ケアシステムの構築は、当面の最重点課題の一つに位置づけているところです。また、発達障害の早期発見・早期支援や生活習慣病の予防と早期治療をめざした特定健康診査、保健指導の充実と受診率の向上に取り組むとともに、「新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき健康危機管理体制の強化を図っております。

このように危機管理体制の充実がますます重要となっている中、貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかに発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と、あわせまして、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。

❀ 新年のごあいさつ ❀



枚方市健康部長

人 見 泰 生

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年、本市は全国で43番目の中核市に移行し、保健所業務などを新たな業務として担うこととなりました。これに先立ち、三師会や公的病院、医療系大学、関係機関等と横断的に連携することにより健康と医療に関わる社会資源を最大限活用し、市民の健康増進や地域医療を充実させるため「健康医療都市ひらかたコンソーシアム（共同事業体）」を設立しました。今後、より一層の健康危機管理体制の充実を図るとともに、子どもから高齢者まですべての市民が健康で安心して生き生きと暮らすことができるまち「健康医療都市ひらかた」の実現を目指して努力を重ねてまいります。

さて、昨年は広島市における土砂災害をはじめ全国各地で豪雨、台風等の災害が発生し、さらには東南海地震の発生が予測されております。本市ではこれら災害に備え、先述のコンソーシアム事業として災害医療対策会議の構成団体と連携し、災害拠点病院や市立ひらかた病院を中心とした災害医療訓練を実施するとともに、大規模災害発生時等の医療体制構築に向けた医薬材料等の備蓄・供給体制の整備等を図っております。

貴協会におかれましては、長年培ってこられた豊富な知識と高度な技術を発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❁ 新年のごあいさつ ❁



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 山西 弘 一

新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

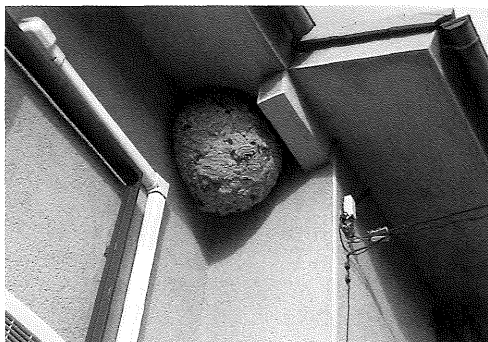
旧年中は、当財団のワクチン事業に対し、格別のご理解とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、西アフリカを中心としたエボラ出血熱の流行、パキスタン等のポリオ常在国から周辺国への感染拡大など、感染症が世界を震撼させた1年でした。特に、エボラ出血熱は年中流行が収束することなく、米国や欧州でも感染者が出るなど昨年1年間で5,000名以上の方が命を落とされました。わが国においても約70年ぶりにデング熱の国内感染が確認されました。

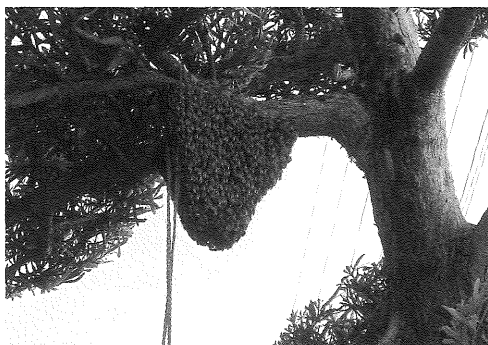
人々の交流が多い現代社会においては、感染症は海や国境を容易に超えてしまいます。また、いつどのように流行するか予想できないものであるため、流行前の事前対策が重要です。国も感染症対策を更に強化しており、その一環として昨年10月には水痘ワクチンや高齢者用肺炎球菌ワクチンが定期接種に追加されるなど、予防接種の充実化も図られております。

当財団では、ワクチンの製造・供給を通じて国内外の感染症対策に寄与するだけでなく、市民公開講座の開催やホームページの充実などを通じて、広く情報提供や啓発活動を行い、予防接種の重要性をご理解いただけるよう努めております。また、未だ予防法のない感染症に対するワクチンや新しい投与経路のワクチンなどの開発を進展させるべく、大阪大学微生物病研究所最先端感染症研究棟の8階に「BIKEN次世代ワクチン開発研究センター」の拠点を開設しました。この中に、大阪大学協働研究所として発足いたします。今後、国内外の感染症対策により一層寄与できるよう、継続的な開発、安定供給および情報提供に努めて参ります。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と皆様方のご活躍ご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



軒先にキイロスズメバチの巣



ミツバチの分蜂



軒先にミツバチの巣



土中に造られたオオスズメバチの巣